

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

私は室蘭市で生まれ石狩市で育ち、大学卒業後の1996年(平成8年)にパブリックコンサルタント株式会社に入社しました。小学生時代は野球、中学生から大学生時代まではテニスと、スポーツに打ち込んできました。その甲斐あって、集中力と体力だけは歳を取っても活かされています。

私が現在の職業を選択した理由に、札幌市役所に勤務していた父(技術士)の影響がありました。

小さい頃から父の仕事に関する様々な話題を聞いていたことから(聞かされていた?)、建設分野は自分にとって身近なものでありました。結果、高校生の頃から自分も建設分野に関する仕事に携わりたいと志望し、建設コンサルタントを選択しました。早いもので勤務して27年、現在は橋梁部門に所属し橋梁設計全般に関する業務に携わっています。途中、5年間ほど農業土木部門に異動し、異なる部門の設計も経験してきました。その経験が今でも役に立っていることもあり、幅広く総合的な視野を持つことの重要さを感じております。技術士を目指したのも父の影響であったのは言うまでもなく、数年かかりましたが2017年(平成29年)に取得し、技術士としてスタートし現在に至っております。

技術士登録後は青年技術士交流委員会に所属したのち、現在は防災委員会(交通部)に所属させていただいております。委員会活動を通じて、各分野で活躍されている技術士の皆様と交流する機会が増え、取得前にはご縁のなかった方々との人脈が広がったとともに、自分の研鑽となっております。

技術士としての人生はまだまだ長いです。今後も資格を取得するまでに苦労したことを忘れず、技術士として研鑽を続け、微力ながら社会に貢献していきたいです。

## 高宮 英樹 (たかみや ひでき)

●建設部門  
(鋼構造及びコンクリート)

### 勤務先

パブリックコンサルタント株式会社



→次号は、北島幹士さん(建設部門)

私は高校卒業まで東京で過ごし、北海道へは東京農業大学オホーツクキャンパスへ入学するためにやって来ました。大学では水圏に関する分野(魚類、藻類、水質分析など)を専攻し、卒論は能取湖の底生生物の生態に関して取り組みました。学生時代の4年間は勉強よりも、クラブ活動(クロスカントリースキー)に打ち込んでいました。

4年間で北海道が大好きになり、北海道内で、

しかも大学で学んだ知識を活かせる企業に就職したいと思い、現在勤務する会社に就職しました。配属先では、主に水文調査(河川、海域、湖沼の水質調査、河川流量観測、地下水水位観測など)、自然環境調査(魚類、鳥類、植物)に取り組んできました。また他の部署では騒音調査や大気質調査、土質、地質等々、幅広い分野の業務を行っており、人手が足りない時は臨時調査員として出勤することもしばしばでした。そのため自分の業務外の知識も学ぶことができ、この事が後に技術士試験にて大いに役立ちました。

技術士の取得は、入社して約10年後より取り組み始めました。最初は周りが受験するから私も何となく受験していました。当然合格するわけがありません。しかし受験を重ねるにつれて「北海道に来たのだから、技術士になって北海道の発展に貢献したい」との前向きな気持ちに変わり、先輩技術士の指導を受けながら諦めずに受験を重ねた結果、50歳手前でようやく合格することができました。

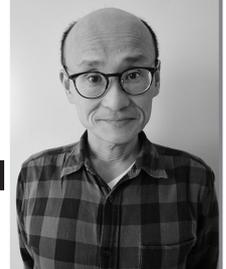
技術士になったら、「顧客から信用・信頼を頂ける」「多様な分野の方々の人脈を形成できる」「色々なチャレンジができる」と多くの先輩技術士から聞きましたが、私も全て体現できました。これからも技術士として技術の研鑽に努め、北海道の発展に貢献していく所存です。

## 神谷 雄一郎 (かみや ゆういちろう)

●建設部門(建設環境)

### 勤務先

環境コンサルタント株式会社



→次号は、寺澤真吾さん(建設部門)